

3. 新世紀の日本と北海道を先導します

北海道港湾においては、

- ・ 広大な国土などのすぐれた立地条件を利用して、苫小牧港（西港区・東港区）、石狩湾新港という、日本と北海道を先導するプロジェクトを実施してきました。
- ・ 広大な臨海空間を活用したリサイクル産業などの新たな産業を展開していきます。これにより、今後、北海道はもとより全国的にも重要課題である循環型社会形成により、先導的な役割を果たします。
- ・ 地理的条件を活かして、北東アジア地域と日本とのゲートウェイとしての役割を強化します。これにより、今後発展が期待される北東アジアとの交流を先導していきます。

北海道港湾は、これからも日本と北海道を先導していきます。

日本と北海道を先導するプロジェクト

北海道では、広大な国土などのすぐれた立地条件を利用して、地域はもとより国全体の安定と発展に寄与するため、開発プロジェクトとともに新たな港湾整備が進められ、昭和38年に苫小牧港（西港区）が、昭和55年に苫小牧港東港区が、昭和57年に石狩湾新港がそれぞれ供用開始しました。

苫小牧港については、西港区が供用開始して以来取扱貨物量も増加するとともに、これに伴い背後に企業も立地して製造品出荷額が急激に増加しました。



苫小牧港東部地域の整備
出典:北海道局資料をもとに作成



石狩湾新港地域の整備
出典:北海道局資料をもとに作成

苫小牧市の製造品出荷額は、現在では札幌市を凌ぐ北海道最大の工業都市に成長しています。なお、平成11年までに累積された苫小牧港利用や整備などによる北海道全体への地域経済効果は約24兆円にもものぼるとの試算があります。

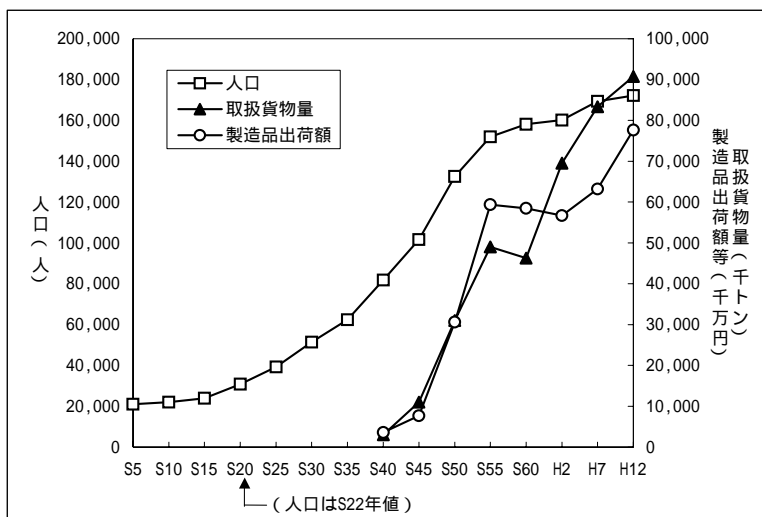
苫小牧港整備による地域経済効果(S26年～H11年集計)

効果の種類		付加価値額
利用効果 (S38-H11)	関連産業	8千億円
	依存産業	8兆5千億円
	計	9兆2千億円
波及効果(S38-H11)		14兆6千億円
事業効果(S26-H11)		5千億円
＜参考値＞人流効果(S49-H11)		1.5千億円
合計(S26-H11) 注2)		24兆3千億円

注1) 四捨五入表記のため、表中の数値の合計が計の欄の数値と一致しないことがある。

注2) 人流効果は含まない。

注3) 平成11年価格



苫小牧港の取扱貨物量及び苫小牧市の人口・製造品出荷額の推移

出典：人口(国勢調査)，工業出荷額(工業統計調査)，
取扱貨物量(北海道港湾統計)をもとに作成

北海道の市町村別製造品出荷額等(上位20位)

順位	市町村	製造品出荷額等(万円)
1	苫小牧市	77,655,768
2	札幌市	70,293,981
3	室蘭市	49,574,630
4	函館市	30,587,363
5	千歳市	27,992,109
6	釧路市	26,055,848
7	旭川市	24,536,355
8	小樽市	17,977,581
9	北見市	15,521,987
10	恵庭市	12,535,544
11	帯広市	12,104,594
12	江別市	9,694,704
13	白老町	9,615,655
14	北広島市	8,726,741
15	石狩市	7,993,096
16	根室市	7,730,422
17	上磯町	6,430,586
18	稚内市	6,090,352
19	音更町	5,542,603
20	紋別市	5,462,362

出典：工業統計調査(平成12年)をもとに作成

静脈物流拠点等新たな産業展開により日本と北海道を先導する北海道港湾

近年の循環型社会に対する要請の高まりを受け、循環型社会形成推進基本法が平成13年1月に完全施行されたのをはじめ、廃棄物・リサイクル関連の6法律が制定・改正されました。

廃棄物の輸送においては、背後の産業空間との接続や、輸送の迅速さを要しない、通過する地域とのトラブルの回避など海上輸送が陸上輸送と比較して適した点が多くあります。

その海上輸送ネットワークと直結しているほか、住宅から一定の距離がある、比較的まとまった土地を入手しやすい、既にさまざまな産業が立地していて対象廃棄物の入手が容易である等、港湾を中心とした臨海部は、リサイクル関連産業の拠点立地に有利であると考えられます。

この中で北海道港湾は、苫小牧東部地域をはじめとして広大な用地を有しているとともに、四方を海で囲まれていることから、以前より本州との定期航路ネットワークが充実しています。また、既存産業の集積、市街地からの遠隔性など、リサイクル拠点を形成するには適した地域であるものと考えられることから、北海道そして全国を対象としたネットワークの中での総合静脈物流拠点として先導的な役割を果たしていきます。

さらには、広大な用地と冷涼な気候・既存海上輸送ネットワークなどを活用して本州への食料安定供給に貢献する食料備蓄基地、気象条件を活用したクリーンエネルギー基地など、新たなニーズに対応した産業や機能の立地を北海道臨海部において推進し、北海道さらには日本を先導していきます。



臨海部にある廃家電処理施設(苫小牧港東港区)

【用語メモ】

循環型社会：大量生産・大量消費・大量廃棄の経済構造からの脱却を図り、限られた資源を有効に活用していく経済社会のこと

北東アジア地域とのゲートウェイとして日本を先導する北海道港湾

北海道は日本で最も北東アジア地域に近いところに位置していることから、北海道が2地域、そして道内の各都市が17都市と姉妹・友好提携等関係にあるなど結びつきの強い地域となっています。

日本と北東アジア地域を結ぶ海上輸送においても、小樽～ホルムスク間や稚内～コルサコフ間のフェリー航路を始め、北方四島とのビザ無し交流やロシアとの交易など、北海道港湾がそのゲートウェイとなり物流・人流ともに交流がなされてきました。

道内主要港湾と北東アジア地域港湾との海上距離 (単位:海里)

港湾	石狩湾 新港	小樽港	稚内港	苫小牧港	(参考) 新潟港
コルサコフ港	227	226	92	(507)	558
ホルムスク港	(229)	241	110	(525)	571
ワニノ港	360	355	(215)	(645)	(735)
ナホトカ港	383	398	427	457	414
ウラジオストック港	428	420	487	(502)	451
ザルビノ港	(468)	(460)	(527)	(542)	(491)
羅津港	(506)	494	553	(553)	(510)

・ボストチャーヌイ港は、概ねナホトカ港と同等程度と考えられる。

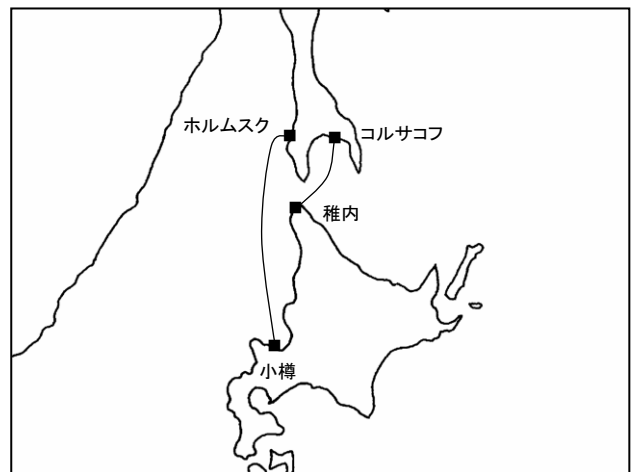
・太字は港湾管理者調べ、細字は DISTANCE TABLE FOR WORLD SHIPPING

・()は推計値である。

出典:港湾管理者調べ、DISTANCE TABLE FOR WORLD SHIPPING

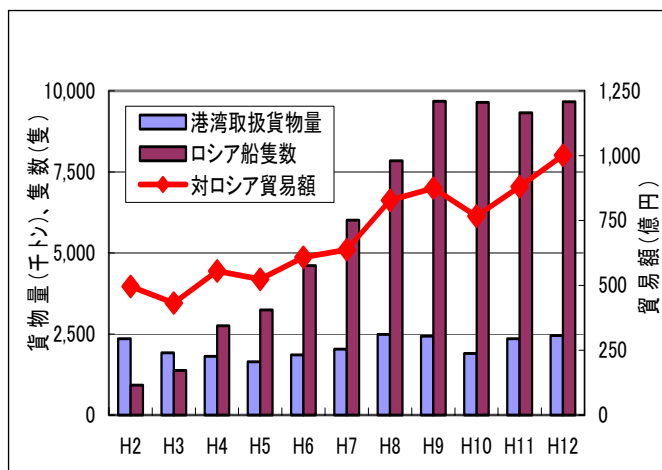
北東アジア地域との姉妹・友好提携等一覧

国名	州・省・地域	提携先	市町村等
中国	黒龍江省	ハルビン	北海道 旭川市
		瀋陽	札幌市
	遼寧省	撫順	夕張市
		朝陽	帯広市
ロシア連邦	サハリン州	ユジノサハリンスク	北海道 旭川市 函館市 稚内市
		コルサコフ	紋別市 稚内市
		ポロナイスク	北見市
		ネベリスク	稚内市
		ホルムスク	釧路市
		オジョルスキー	猿払村
		ドリンスク	名寄市
		トマリ	天塩町
		セベロクリリスク	根室市
	沿海地方	ナホトカ	小樽市
	ウラジオストック	函館市	
ハバロフスク地方	ワニノ	石狩市	
カムチャッカ州	ペトロハーフロフスクカムチャッキー	釧路市	



日・ロ定期フェリー航路図(平成14年3月現在)

出典:北海道庁総務部資料をもとに作成(H13.10.18現在)



ロシアとの交易状況

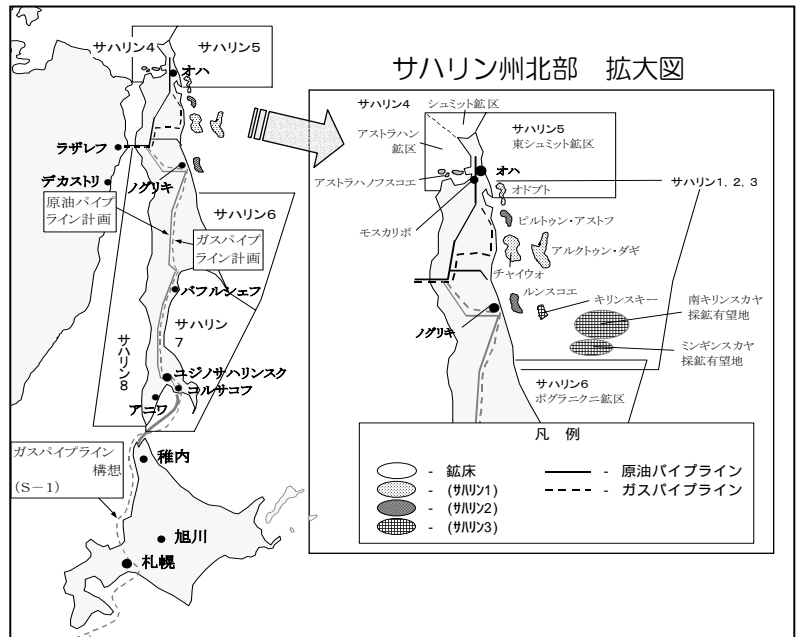
北方四島とのビザなし交流の実績

年度	日本側からの訪問		四島側からの訪問(受入れ)	
	訪問回数	人数	訪問回数	人数
平成4年度	6回	268人	5回	232人
5年度	9回	418人	8回	406人
6年度	7回	324人	6回	342人
7年度	8回	371人	7回	426人
8年度	9回	422人	7回	420人
9年度	11回	460人	8回	419人
10年度	12回	430人	9回	443人
11年度	16回	687人	9回	429人
12年度	15回	658人	9回	474人
13年度	5回	265人	3回	165人
合計	98回	4,303人	71回	3,756人

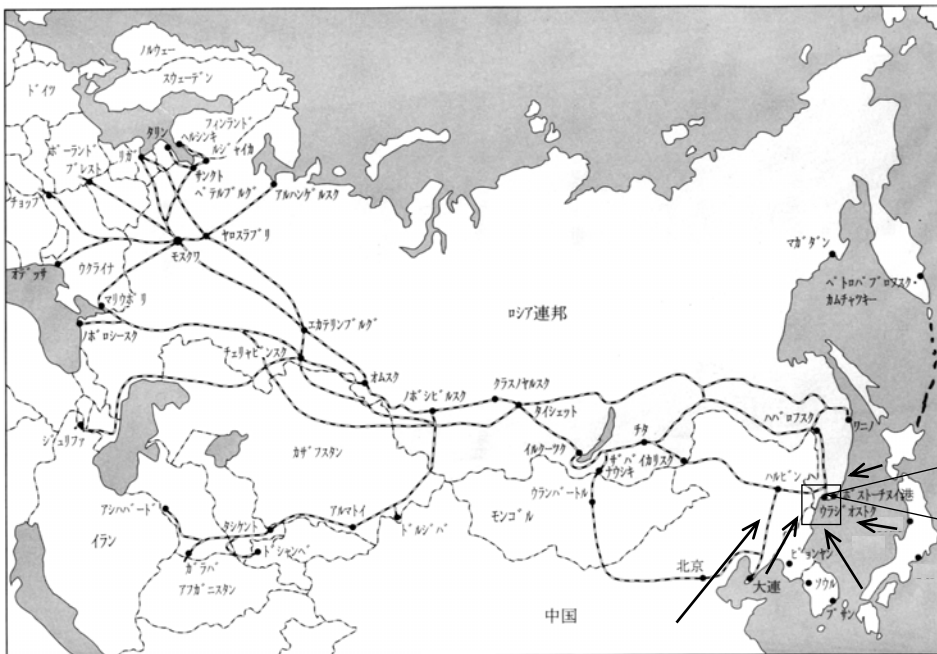
出典:根室市調べ

近年、北東アジア地域では、さまざまなプロジェクトが動いています。1つは、油田や天然ガス開発を行うサハリンプロジェクトがあります。このプロジェクトに対しては、すでに稚内市、石狩市、函館市の3市が後方支援機能を担うための活動を継続しています。その他にも図們江地域開発やシベリアラウンドブリッジの再構築の動きがあり、更なる発展が期待されます。

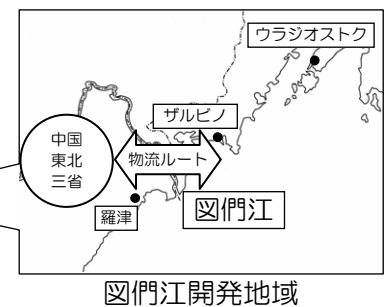
今後、北東アジア地域では、サハリンプロジェクトをはじめとした各種プロジェクトに必要な資材、生活物資の輸入など相互間の物流が増加するとともに人的交流も盛んになっていくものと考えられます。北海道の港湾は、今後発展が予想されるこの地域との近接性や従来からの友好関係を活用しつつ、資材の調達や港湾機能の高度化、サービスの提供を図ります。さらには将来的に北米とを結ぶ国際海上コンテナ輸送の中継基地を目指すなど、北東アジア地域に対する日本のゲートウェイとしての新たな役割を担うことで北海道のみならず、我が国を先導していきます。なお、プロジェクトの進展に伴い懸念される、大規模油流出事故などについても所要の対策も併せて進めていきます。



サハリンプロジェクトの概要



図們江地域開発とシベリア・ラウンドブリッジのネットワーク



図們江開発地域

○図們江地域開発の概要

図們江地域開発計画は、中国・ロシア・北朝鮮の3カ国にまたがる図們江流域付近の地域を多国間の協力により開発しようとするプロジェクトである。

現在の本地域の開発については、図們江地域の開発と中国東北三省からの物流ルートであるザルビノルートと羅津ルートの整備開発という2つの側面から整備が進められつつある。

○シベリア・ラウンドブリッジ

シベリア・ラウンドブリッジは、船舶、鉄道、トラック等を利用し、主に日本及びアジアのコンテナ貨物をシベリア鉄道経由で欧州、中近東、中央アジアの輸送する国際複合輸送システムである。